



日独産業協会
Deutsch-Japanischer
Wirtschaftskreis

2023 年 活動・財務報告書

NETWORKING | INFORMATION | BUSINESS

日独産業協会(DJW)の活動の目的は、日本とドイツの間の交流の促進にあります。DJWの構想が生まれたのは1984年。この年、ドイツ産業界の代表が東京で開催された産業博を訪れ、さまざまなアイデアや新たな人脈、そして何より日本に対する強い関心を携えてドイツへ帰国しました。1980年代、日独両国の間には既に安定的かつ強固な外交関係が築かれ、両国の関係省庁や多国籍組織を通じたパートナーシップに基づく協業が進められていました。しかしながら、公式の改まった場を除き、日独両国のビジネス関係者が直接交流する機会が不足していました。このような背景から、ドイツ産業界の代表による訪日旅行を機に、日独間の対話を促進するためのサークルを創設するという基本的構想が生まれました。

今日の私たちの活動にも、この思いが引き継がれています。1986年、上記構想に基づき日独産業協会(DJW)が設立されました。以来、現在に至るまで、当協会は、両国にとって関心の高いテーマについて情報を交換し、懸案事項を取り上げ議論するためのプラットフォームを提供してきました。このプラットフォームをベースに広がるDJWのネットワークの輪は、両国企業に加え、経済産業振興組織、産官学そしてメディアの代表、また、日独ビジネスに興味・関心を寄せる個人、次世代の日独交流を担う若手ビジネスパーソンや学生など多様なメンバーから構成されています。私たちは、二国間の経済関係とオープンで透明かつ公正な対話を促進するという明確な共通の目標のもとに、これらすべての関係者を結集させています。

DJWの会員数は現在954を数え、協会の取り組むべきテーマの具体化や進むべき将来の方向性を定めるうえで、ご協力とお力添えを頂いています。その強固な基盤を形成するのが、**協賛会員**、そして**正会員**の皆様です。会員の大半は、ドイツと日本に拠点を置いていますが、DJW会員のネットワークは、他の欧州諸国、アジア、米国にも広がっています。これによりDJWは国境を越えて活動を展開する最大規模の日独ビジネスプラットフォームとなっています。

さらに次の2つの側面が、DJWをユニークな存在にしています。当協会は、非営利の登録団体として100%民間からの資金で運営されており、会費と寄付収入のみで活動を展開しています。また、政治的に独立した立場を取っており、いかなる省庁や財団にも属していません。そうあることで、会員やパートナーの皆様とともに、日独両国が関心を持つ最新トピックや動向に迅速に対応し、DJWの活動の枠組みの範囲で取り上げていくことが可能になると考えています。

以下に、2023会計年度の活動を報告致します。2023年のハイライトのひとつは、会員やパートナー組織との協力のもと、ドイツ全国および日本で実現した新たなプロジェクトです。もうひとつの目玉は、(これまでのことろ)ハンブルクとミュンヘンを中心に開催してきたコミュニティ・イベントで、これらのイベントを通してDJWのプレゼンスと視認性のさらなる向上につなげることができました。次ページより、2023年の当協

会のプロジェクトの詳細をご紹介します。これらの報告を、新しいアイデアや国境を越えた未来の協業のためのインスピレーションにつなげて頂けたならば幸いです。



DJW プロローグ 2023 より「DJW ユニバース」。

活動分野

イベント

当協会の最も重要な目的は、日独両国間の経済・産業界の連携を強化するとともに、公正かつオープンな協力関係を促進し、それにより様々なレベルにおいて相互理解を深めることにあります。確かな情報の提供、継続的な交流、そして堅牢で長期的視野に立った関係の構築は、両国が互いに学び合い、活発かつ信頼のもとに成り立つ対話のための重要な基盤となります。当協会が開催するイベントは、そのために確立され、幅広く活用されているプラットフォームであり、DJWの**活動趣旨と定款に掲げる目的**を実行に移し、持続的に命を吹き込む役割を担っています。当協会主催の**イベント**が会員の皆様だけでなく、日独間の経済交流に関心を持つすべての方々に開かれている理由もここにあります。

2023年の活動で特筆すべきは、**パートナー組織との協働の再開**、そして**新たなコラボレーションの始動**です。私たちの活動の中核は、DJWの活動を通して、またはDJWを介して人々を結びつけ、アイデアの創出やオープンな対話につなげていくことです。その実現には、幅広いプログラムとサービスを提供し、日独コミュニティにおけるプレゼンスを高めることが不可欠であり、**組織や業界を超えた様々なレベルでの協力**が鍵になると確信しています。2023年に私たちが特に注力したのが、まさにこの力強い協力関係であり、ドイツそして日本の**数々のパートナー組織**と対話を重ね、新たなコンセプトを検証し、その成果をイベントの枠組みにおいて展開していきました。具体的には、独日協会(DJG)フランクフルトとフランクフルト日本法人会との協力に基づく「独日経済懇談会」、エコス(ECOS Consult)およびドイツメッセ(Deutsche Messe)とのパートナーシップのもと、ハノーバー・メッセで開催された「日独経済フォーラム」、大阪・神戸ドイツ総領事館と在日ドイツ商工会議所(AHK Japan)との共催イベント「German Economic Roundtable」が挙げられます。同様に、ハンブルクでは「Japamburg im DJW」、ミュンヘンではジェトロ(JETRO)とDJG Bayernとの協力に基づき日本とバイエルン間のビジネス対話「Munichiwa!」という2つのコミュニティ・イベントも開催しました。

もうひとつ私たちが力を入れているのが、次世代の日独経済関係を担う若者たちの育成です。日本そしてドイツに興味を持ってもらい、キャリア形成の機会をサポートし、将来のキャリアパスの幅を広げるお手伝いをしています。両国の教育機関や大学との協力は、この点で特に効果的です。2023年、私たちは立命館大学と新たな協力関係を結び、異文化コミュニケーションに関する講義やセミナーを共同で開催し、同テーマに関心を持つ150人の学生にご参加頂きました。また、ハンブルクとフランクフルトでもDJWキャリア・トークを開催し、好評を得ることができました。

2023年は、オンライン、オフラインおよびハイブリッド形式で計46件のイベントを実施した2022年を上回る、50件のイベントを開催しました。平均して1週間に1回のペースでイベントを開催した計算になります。これらのイベントでは、日独両国の経済に影響を及ぼすグローバル規模の課題、スマートシティ、コーポレート・ブランディング、テクノロジーの進化、日本学専攻学生のキャリアパスなど、日独ビジネス・コミュニティに関連する多岐にわたるテーマを取り上げました。

50件のDJW主催イベントの延べ参加者数は、1,200人超となりました(内訳は、ドイツ人参加者:65%/日本人参加者:35%/DJW会員:75%/非会員:25%)。イベントのハイライトは以下の通りです。開催イベントの一覧は、本報告書の付属資料をご覧ください。

- ハノーファー・メッセの一環として2023年に第16回目を迎えた「**日独ビジネスフォーラム**」では、初めてイベントパートナーとして参画し、コラボレーションを通して、DJWの対外的プレゼンスと影響力を示していくという強いシグナルを発信することができました。DJWの会員でもあるエコス、そしてドイツメッセとともに、ドイツ産業連盟(BDI)、ドイツ航空宇宙センター(DLR)、グリーン・ビジネス・ダイアロ

ーグ(GWD)など、企業や組織の代表をお招きし、「重なる危機下における持続可能な生産とエネルギー供給」をテーマにディスカッションを行いました。当日はライブストリーミングも実施、メッセ会場とあわせて150人以上の参加者を迎え、ドイツ連邦経済・気候保護省の支援のもと、ロベルト・ハーベック同省大臣からはビデオメッセージにてご挨拶を頂戴しました。

- 日本においても、パンデミック以前からの協力関係を継続し、パートナーである在日ドイツ商工会議所および大阪・神戸ドイツ総領事館とともに、既の実績あるイベント形式である「German Economic Roundtable」を3月と11月にそれぞれ開催しました。両会とも約60名の参加者とともに、日独企業における人材の育成や登用をテーマに議論を行いました。
- DJWは、とりわけ当該活動が地元、地域、そして全国的なビジネスコミュニティの定期的なイベント開催あるいはネットワーキングの機会につながる場合、会員によるイニシアチブを促進・支援しています。2023年には特に、2021年に個人のイニシアチブを通してハンブルクで立ち上げられた「Japamburg」を2023年9月にDJWワーキンググループ「Japamburg im DJW」として組織化し、コミュニティ・イベントの定期開催にこぎつけるなど、意欲的なDJW会員との協業に成功しました。さらに、10月からはミュンヘンにおいて日本とバイエルン間のビジネス対話「Munichiwa!」を始動させ、毎月第3木曜日にミュンヘンでイベントを定例開催し、毎回約30名にご参加頂いています。
- 2021年にスタートしたDJW Spot On!のイベント形式を2023年も成功裏に継続させていくことができました。10月には、日本経済新聞社欧州総局長の赤川省吾氏をお迎えし、モデレーターによる司会進行のもと、DJW理事長ゲアハルト・ヴィースホイトとの対談を通してグローバルな観点でドイツおよび日本経済が抱える課題について具体例を挙げながらお話し頂きました(イベントの情報はDJWウェブサイトよりご覧頂けます)
- 本会計年度には、「スマートシティ」をテーマにDJWシンポジウムを2回開催しました(パートI:オットブルンおよびオンライン併用、パートII:東京)。具体的には、精巧に連動するセンサー技術、かつ相互に関連して接続され、人間を中心に置いて計画される未来のスマートシティのデザイン、そしてこの分野においてドイツと日本がどのように学び合うことができるかについて議論しました。
- また、エアフルト、デュッセルドルフ、ハノーファー、ヴィリッヒで、センサー技術、企業ブランディング、技術開発、持続可能性などをテーマに、既にDJWの伝統となりつつある「DJW会」を開催しました。
- さらに、DJW「エグゼクティブ・ラウンジ」の継続開催にも成功しました。
- 2023年におけるもうひとつの大きな成果は、ワーキンググループやスクワッドの取り組みとその成果のDJWへのフィードバックという流れが、安定的かつ持続可能な形で協会の活動に統合されたことです。このような能動的かつ自律的な協力関係こそが、DJWの存在をユニークなものにしており、会員やネットワークからの提案やアイデアを実現するためのプラットフォームとしてのDJWの価値を高めていると言えます。
- 加えて、DJWのウェブサイトやソーシャルメディアチャンネル、ニュースレターでのイベント情報の告知、DJWによるプレゼンテーションやスピーチ、挨拶、司会、あるいは適任者やコンタクトパーソンの紹介を通して、DJW会員および提携団体・企業主催のイベントを多数サポートしました。
- 在日ドイツ商工会議所、両国領事館、法人会や日本人会、ベルリン日独センター、学術ならびに研究機関、国際交流団体、独日・日独協会、経済振興組織など、全国規模あるいは地域レベルで活動を展開する様々な組織との協力を継続・拡大しました。これらはいずれも、DJWのネットワークの輪を広げ、日独間の交流に関心を持つ人々、そして企業をさらに増やしていくという明確な目的に基づいています。

コンタクト & インフォメーションプラットフォーム

DJW 会員の皆様には、さらに以下のサービスを提供しています。

- イベントに加えて、メンバー同士を直接つなぐもうひとつの機会が「**Networking Hub**」です。Networking Hubのローンチから1年が経過し、このデジタルネットワーキング・プラットフォームを利用する会員の数が着実に増加しています。デジタル空間でのワーキンググループの運営は対面の場合に比べハードルが低く、オンライン上で開催されるDJWイベントや交流イベントに関しても、イベント参加者にとってアクセスしやすい環境が整備されました。タグ(地域や業種など、検索性をより高めるキーワード)の一層の充実を図ったことで、会員の皆様により的確な絞った形でネットワークを構築して頂けるようになりました。またHub内で、DJWからの情報や会員の皆様から寄せられたお問い合わせを共有しました。
- **デジタル会員名簿**には、掲載を希望する全会員の連絡先が登録されており、フィルター機能を用いて様々な基準に基づき絞り込んだり、ソート機能を使って並び替えたりできます。名簿へは、パスワードで保護されたウェブサイト上の会員専用ページからアクセスでき、会員の皆様ご自身による編集が可能です。
- 企業会員と組織・団体会員の皆様には、DJWウェブサイト上で一般に公開される**エキスパートプール**も提供しています。エキスパートプールの掲載情報も、会員専用ページから自由に編集して頂けます。サービス業と製造業に分類された会員ディレクトリは、分野別にフィルタリングしたり、その他の基準で検索をかけたりすることができます。また、会員名簿およびエキスパートプールにロゴを掲載し、視認性の向上を図って頂くこともできます(有料)。
- エキスパートプールと**インフォメーションマップ**との連携により、会員の皆様には、DJWウェブサイト上でのプレゼンス向上を図って頂けます。2021年のマップサイトのローンチ以来、エキスパートプールに登録された会員は、**企業および組織・団体会員の国・地域別マップ**上に自動的に掲載されるようになりました。**ビジネス・学術・政治分野で活躍する会員やパートナー**を紹介するマップでは、日独交流の分野で活動を展開する組織や団体の概要を拠点別にご覧頂けます。**キャリア・マップ**は、ドイツと日本でのキャリアパスを示すもので、内容に合わせて分類されています。本会計年度には、新たに**コワーキング・スペース・マップ**の提供を開始しました。この他にも、複数のマップを作成中です。
- 日独**インフォメーションプール**には、DJWチームや理事メンバー、会員、パートナーからの幅広いビジネス関連情報、出版物や記事などを掲載しています。
- さらに、企業会員の皆様には、オンライン上の**ジョブプール**に求人情報を掲載し、条件に合致する候補者探しに役立てて頂きました。2023年にジョブプールに掲載された企業会員からの求人件数は398件に上り、2023年も前年比で大幅な利用増となりました。また、**LinkedIn**と**X**で毎週求人情報を動画形式で配信することで、ジョブプールへの注目度を一層高めることができました。
- DJWからの最新情報や、日独の文脈における政治経済の動向を評価・分析した**理事長ゲアハルト・ヴィースホイ**によるコラムが掲載された毎月の**DJWニュースレター**も、例年通りメールでお届けしました。ニュースレターとコラムは、DJWウェブサイトにも掲載されており、**アーカイブ**よりご覧頂けます。加えて、DJW理事メンバーを皆様によりよく知って頂くことを目的に、理事メンバーへのインタビュー・シリーズも継続しました(**ルプレヒト・フォン・ラン名誉理事長**、**フォルカー・シュタンツェル**)。また、会員やパートナーの皆様が主催するイベントや会員企業の求人情報も、DJWニュースレターを通して毎月配信しています。

広報活動

イベント、そして人脈の構築と情報交換のためのプラットフォームが提供する多様な機会は、日独両国で、私たちの活動の中核を成しています。これらはおそらく、DJW の活動のなかでも目に見える、最もわかりやすい形であると言えます。2023 年、私たちは協会の活動趣旨を実行に移すため、以下のようなプロジェクトにもエネルギーとリソースを注ぎました。

● 「DJW アンバサダー」コンセプトの具体化

会員の皆様に、新たなアイデアの創出や思考、検討のプロセスに積極的に参加して頂く目的で、DJW は 2019 年よりスクワッドを始動させました。スクワッドはプロジェクトごとに設置され、テーマやアイデア、コンセプトを作り上げ、一緒に実行に移していきます。「DJW アンバサダー」のコンセプトも同様で、ドイツと日本、双方の会員を迎えて特別に立ち上げたスクワッドで提案や要望を募り、アイデアをペーパーに取りまとめました。ミーティングはレゴ社の「シリアスプレイ」の手法に基づき、ファシリテーター役による進行のもとで行われ、的を絞った問いかけにより数々のインスピレーションが得られました。

私たちの目標はドイツと日本で、約 20 人の「DJW アンバサダー」から成る可能な限り多様でバランスの取れたネットワークを構築することです。ここで言う多様性は、拠点、代表する業種や産業、ビジネス、政治、社会、学術研究など、それぞれがアクティブに活動するネットワークを指します。同時に、アンバサダー同士のローカルな交流を後押しするために、ある程度の地域的な集中を想定しています。2024 年には、名誉職としての DJW アンバサダーの活動をスタートさせる予定です。

● イメージ・ブローシャーおよびデザインの統一

DJW の活動を体験するだけでなく、文字通り「手に取るように」わかって頂くために、2022 年に DJW のイメージ・パンフレットを新たに作成しました。DJW の活動の宣伝に協力して下さる多くの関係機関に当該パンフレットを郵送するとともに、イベント会場でも参加者に配布しました。また、入会を検討中の皆様に、DJW の活動をより良く理解して頂く、コンパクトな情報ソースとしての役割も果たしています。

DJW の対外的なイメージをより認識しやすく、統一したものにするため、本会計年度も引き続きデザインの要素に取り組み、繰り返し用いられる協会のロゴ入りグッズや印刷物などに取り入れていきました。たとえば、資料持ち帰り用の紙袋、封筒、メッセージカードなどを作成しました。

● ソーシャル・メディア

DJW をより多くの方々に知って頂く機会について語るうえで、ソーシャルメディアの存在を無視することはできません。DJW は、LinkedIn、YouTube、X にアカウントを持ち、情報を発信してきました。2023 年もそれぞれのメディアチャンネルでリーチを拡大することができました。特に LinkedIn は、私たちのコンテンツに適したチャンネルとして確立されており、そのことは、活発なやりとりや、投稿のシェアの数にも表れています。

● DJW ウェブサイトの最適化

当協会が提供するサービスの幅が広がるにつれ、また一般均等待遇法 (AGG) の観点からジェンダー平等な表現への配慮を求める流れを背景に、DJW ウェブサイトとその操作性、特に会員が用いる求人フォームに対する要求が高まってきました。そこで 2022 年 7 月、私たちはジョブプールの利用者とともに「**ジョブプール改善 2022**」スクワッドを立ち上げ、**キックオフ・ミーティング**を開催しました。共通の目標は、ジョブプールの使い勝手を一層向上させ、時代の要請に沿って最適化することです。2023 年、本プロジェ

クトの成果を成功裏に実行に移すことができました。ジョブプールを利用する会員企業の皆様は、求人広告を自ら掲載できるようになり、入力フォームにフィールドが追加されたことで、企業情報のプレゼンテーションも可能になりました。求人広告の完全な編集と削除に関する更なる最適化は、2024 年に予定されています。

また、ウェブ・プログラマーの協力を得て、イベントページを最適化することができました。ハイブリッド型イベントへの参加希望者は、ドロップダウンメニューから選択のうえ参加登録を行えるようになり、最大参加者数に応じて異なるランディングページに登録者を誘導できるようになりました。DJW のすべてのプロジェクトと同様、ウェブサイトのモニタリングを続け、今後も新たな要求に対してできるだけ迅速に対応するよう努めて参ります。

- **コワーキングスペースとしてのデュッセルドルフオフィスの活用**

年初に実施したオフィスレイアウトの変更にともない、DJW のオフィスを、モニター、ドッキングステーション、Wi-Fi を完備したコワーキングスペースとして会員やパートナーの皆様にご利用頂けることになりました。出張時の仕事場として、チームのミーティングルームとして、また DJW チームとの交流や意見交換の場として、会員の皆様に積極的に活用頂いています。

デュッセルドルフ中央駅から徒歩 5 分という便利な立地にある当オフィスへ、多くの皆様のご来訪をお待ちしております！

組織

理事会メンバー*

- Prof. Dr. モーリッツ・ベルツ フランクフルト大学教授(フランクフルト)
- ニコル・バステリアン Handelsblatt 外国部部長(デュッセルドルフ)
- Dr. ユルゲン・グロスマン 元 RWE 最高経営責任者、Georgsmarienhütte GmbH 有限責任社員(ハンブルク)
- 國部毅 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長(東京)
- Dr. シュテファン・マイアー ドイツ国際政治安全保障研究所所長、科学政策財団(SWP)事務局長(ベルリン)
- ヴィルヘルム・メームケン ECOS Consult 有限会社代表取締役(オスナブリュック)
- 成川哲夫 DJW 副理事長、三菱地所株式会社社外取締役、岡三証券株式会社社外取締役(東京)
- 信谷和重 日本貿易振興機構(JETRO)副理事長(東京)
- ヴィルフリード・シュミット アドバイザー(ベルリン)
- Dr. 神余隆博 関西学院大学理事・教授、元大使(兵庫)
- Dr. フォルカー・シュタンツェル 元大使、独日協会連合会(VDJG)会長(ベルリン)
- マンフレッド・シュターン アドバイザー(エシュボルン)
- 立川雅和 デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長(デュッセルドルフ)
- 筒井義信 日本生命保険相互会社代表取締役会長(東京)
- Dr. ルプレヒト・フォンドラン DJW 名誉理事長、独日協会連合会(VDJG)名誉会長(デュッセルドルフ)
- Prof. Dr. フランツ・ヴァルデンベルガー ドイツ日本研究所(DIJ)所長(東京)
- ゲアハルト・ヴィースホイ DJW 理事長、B.メッツラー・ゼール・ゾーン株式会社 代表取締役社長(フランクフルト・アム・マイン)
- ヴィースホイ弘貴 ドイチェ・アセット・マネジメント(DWS)株式会社 代表取締役社長(東京)

* 2023 年 12 月末現在

事務局(デュッセルドルフ／東京)

当会計年度の事務局構成は次の通りです。

デュッセルドルフ事務局:事務局長 1 名(フルタイム)／会員関連業務・サービス担当スタッフ 2 名(フルタイム)／プロジェクトアシスタント 1 名(時短勤務)

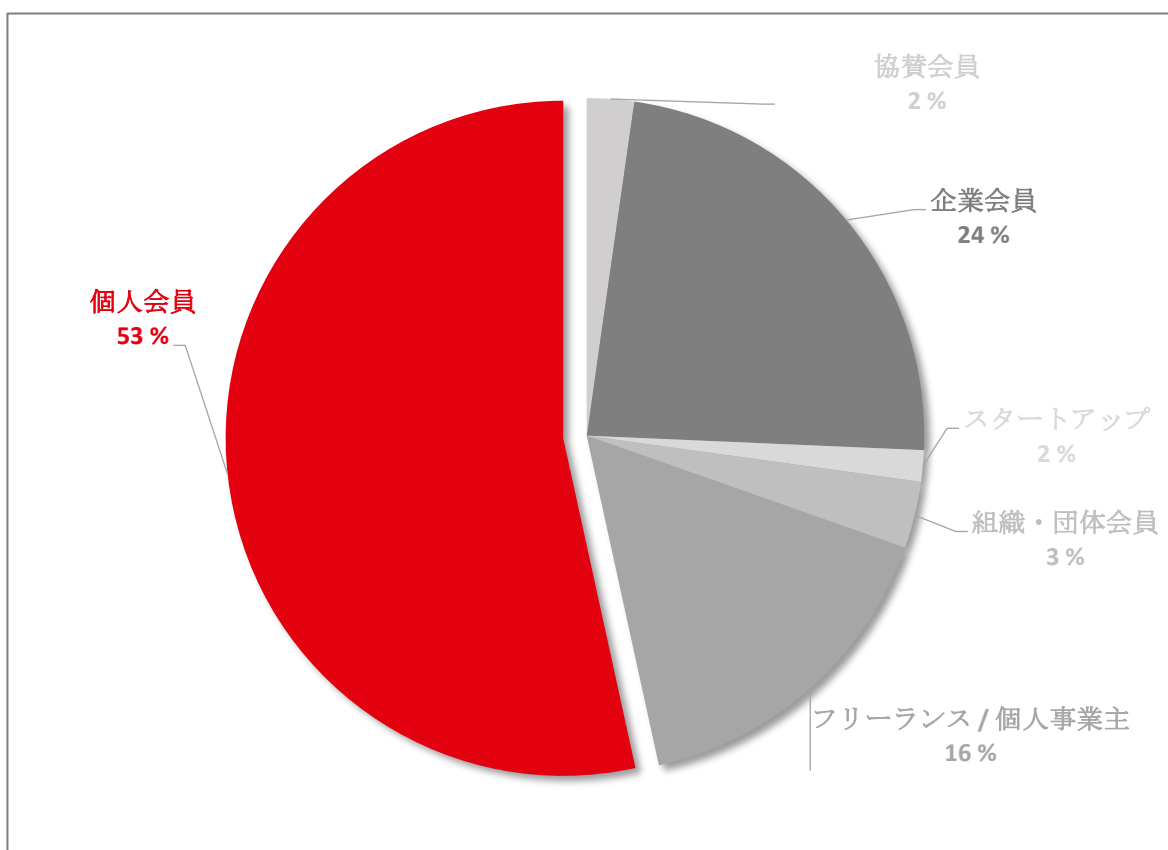
東京駐在事務所:駐日代表1名(フルタイム)

会員構成の変化

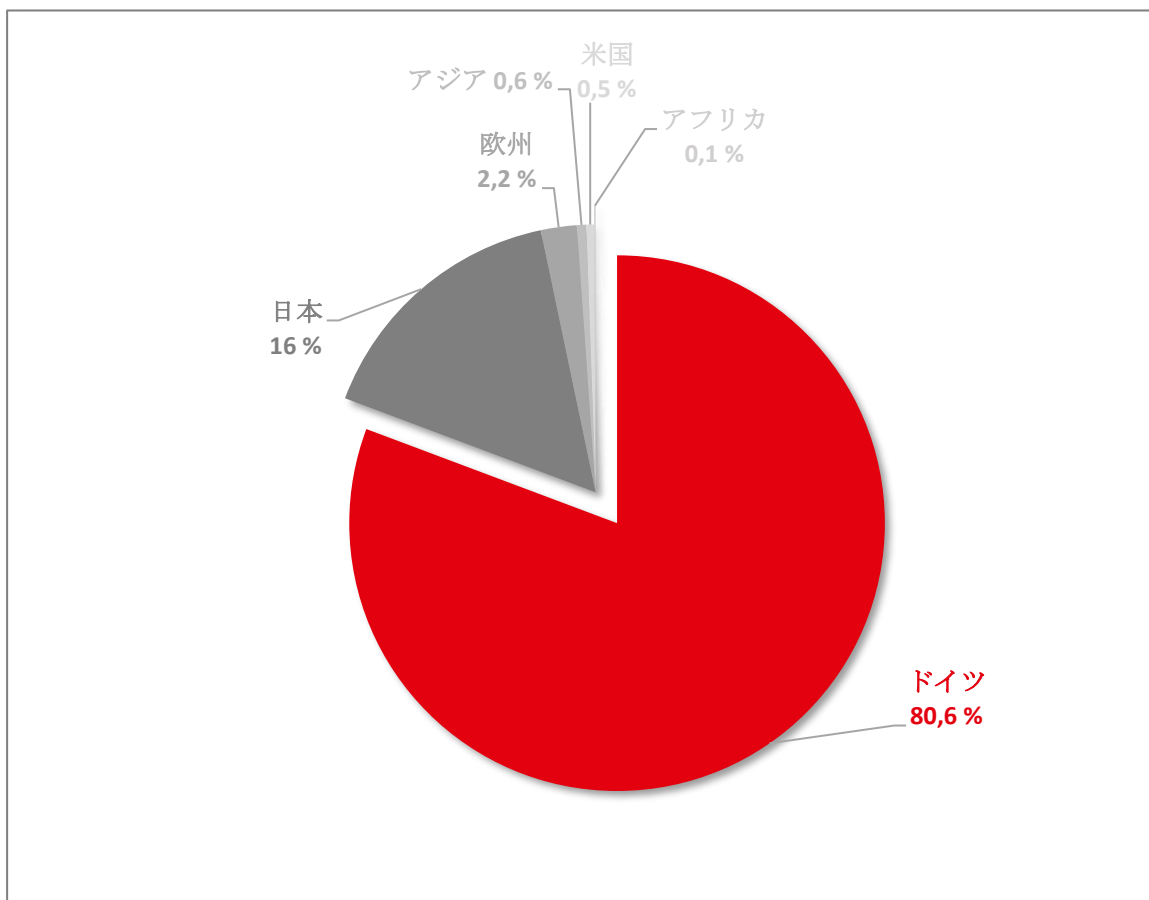
当協会の会員は、日独両国の企業、サービスプロバイダー、経済振興団体、産官学の代表、ジャーナリスト、フリーランサー、個人事業主、スタートアップ、次世代の日独経済を担う若手ビジネスパーソンや学生などから構成されています。

2023年には、新たに合計62の正規会員(内訳:企業会員15、スタートアップ会員5、組織・団体会員2、個人事業主・フリーランス会員7、個人会員33)にご入会頂きました。

DJW 会員の内訳(会員カテゴリー別)



DJW 会員の内訳(拠点別)



大変光栄なことに、Enobyte GmbH(ミュンヘン)と SMC Deutschland GmbH(エーゲルスバッハ)を協賛会員としてお迎えすることが叶いました。これにより、本会計年度は合計 24 社の協賛会員より特別なご支援を賜ることができました。

2023 年協賛会員

 DAIDO LIFE				
		 すてきな未来応援します フコク生命		
 B. Metzler soeh. Sohn & Co.				

以上により、2023 年末時点の会員総数は **1,063** になりました(前年末:1,011)。企業、組織・団体、個人事業主・フリーランスそして個人の皆様から成る包括的なネットワークとして当協会は、全国規模で活動する最大の日独プラットフォームとなっています。国別の内訳では、ドイツ国内の会員が大多数の 80%を占めています。日本を拠点とする会員の割合は前年同様 16%となっています(その他合計 4%弱)。

2023 年の新規会員の入会の理由やきっかけで最も多かったのは、インターネットでの検索と DJW ウェブサイトの訪問でした(25%)。それに続く入会経路が、DJW チーム、理事メンバー、特別顧問との個別コンタクトによるものです(合計 15%)。さらに、DJW のパートナーや親密先(9%)、既存会員(6%)が、それぞれの活動分野の関係者に DJW への入会を勧めてくださいました。その他の理由やきっかけには、DJW が提供するイベントや交流の機会を評価して(11%)、ソーシャルメディアを通して DJW を知った(8%)、大学や学校で知った(8%)が挙げられています。

この数字を既存のサービス・ポートフォリオへの追い風として、特にイベントや、ジョブプールなどのウェブベースのサービスを、ウェブサイトの一層の最適化とあわせて今後も推し進めていきます。また、LinkedIn や X に焦点を当てた前年のソーシャル・メディア戦略が、会員数の増加にも反映されていることは嬉しい限りです。

なお、2023 年中の会員数の増加に対して、2024 年より有効となる **71 件の退会申請**(通常退会 68 件の他、死亡ならびにカテゴリー変更にもなう期日を遡及しての退会が 3 件)がありました。(前年の退会数:78 件)。

財務 FINANZEN UND ADMINISTRATION

本報告書に記載されているように、私たちのコンテンツ関連プログラムは、私たちが外部にインパクトを与え、ネットワークを活性化し、日独関係の認知度を高めるための土台となるものです。その一方で、協会の数字と財務状況の把握も不可欠です。以下に収支の概要を簡略化して示しますが、2023年度の当協会の収支はマイナスとなりました。この対応としては、2年以内に再投資あるいは支出が求められている2021年に発生した剰余金を充当しています。

2023年収支報告簡易版¹

Einnahmen (EUR) 収入 (EUR)			Ausgaben (EUR) 支出 (EUR)		
	2023	2022		2023	2022
Mitgliedsbeiträge 年会費	304.671	305.650	Personal- und Bürokosten 人件費・事務費	246.013	254.210
- Reguläre Mitglieder 正会員	177.000	174.700	(z. B. Gehälter, Büroinfrastruktur 給与、事務消耗品費など)		
- Förderer 協賛会員	126.000	106.500	Veranstaltungen イベント	74.034	68.624
- Währungsausgleich 通貨調整	1.671	510	(z. B. Catering, Raummiete, Reisekosten ケータリング、会場使用料、出張経費など)		
Spenden 寄付	20	0.00	Abschreibungen 減価償却	1.099	10.971
Veranstaltungen イベント	34.398	43.961	(Sachanlagen, GWG, Forderungsverluste 有形固定資産、少額資産、回収不能による損失)		
(Sponsoring, Teilnahmebeiträge, Schulungen スポンサー費、参加費、研修費)			Sonstige その他	47.983	58.926
Sonstige その他	11.838	11.791	(z. B. Bank, Buchführung, Versicherung, Beratung, Repräsentations- und Öffentlichkeitsarbeit 銀行手数料、会計事務、保険、コンサルティング料、渉外・広報活動費など)		
(Kooperationen 協力費)			Summe 合計	369.129	392.731
Summe 合計	350.927	361.402			
Vereinsergebnis 2023 (Negativbetrag) 単年収支(赤字)	18.202				

Hinweis: Zahlen wurden qualitativ zusammengefasst und gerundet.
注: 本報告書では収支の大項目のみ掲載し、また端数も切り捨てて表示しています。

DJW – Mitgliederversammlung (Frankfurt und Online, 03.07.2024)

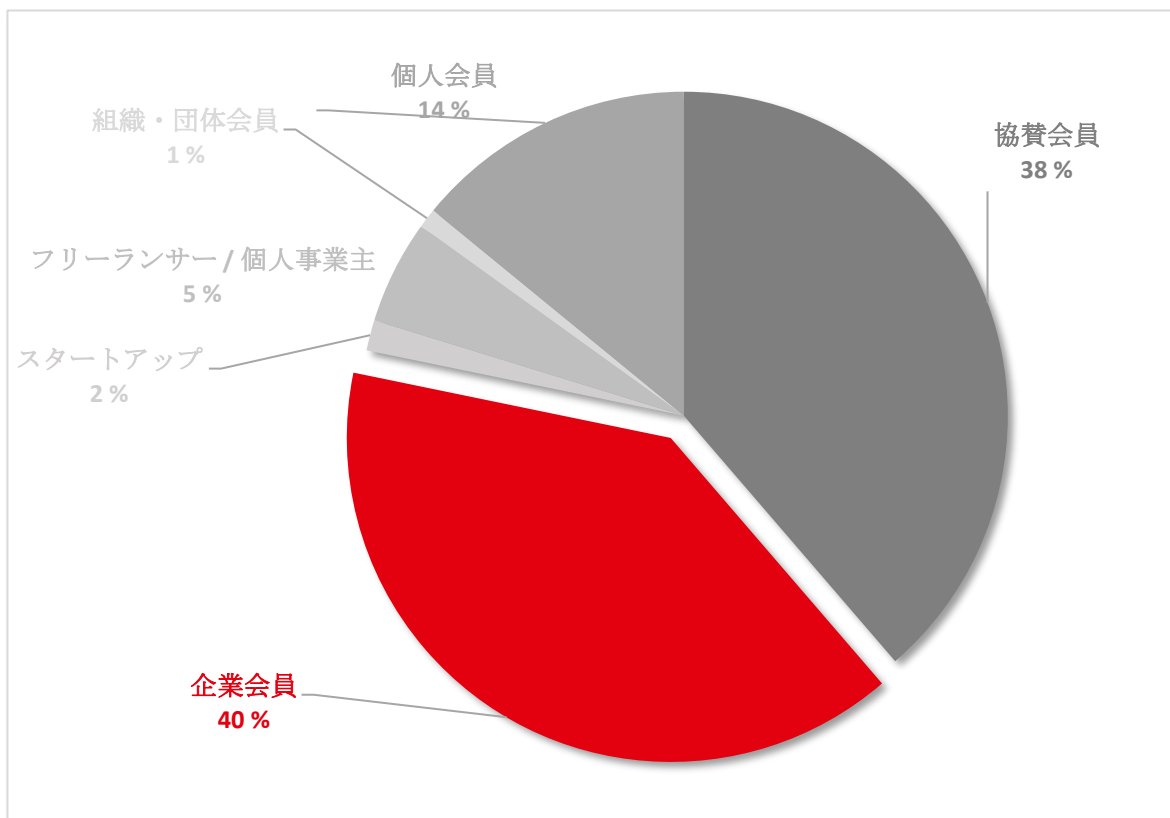
固定費の大部分については、**会費収入**にて賄うことができます。安定した会員基盤、ドイツや日本でのネットワークの拡大は、従来通りの頻度ならびに質の高い枠組みで活動を行うための大前提となります。既存会員の皆様、そして日独ビジネスに従事する企業や組織に協賛会員となって頂くことは、今後も、明確な目標のひとつです。なお、今年度の新規会員数は前年度とほぼ同じであり、会員数は安定的に推移しています。

より大規模かつ存在感のあるイベントが再び開催されるようになり、その結果として、2022年と比べてイベント関連の支出や出張旅費が増加したことも人と人をつ結び、国境を越えた理解に貢献する、という当協会の掲げる使命をより力強く実行に移せたことの証であり、喜ばしい変化であると考えています。

2023年も、協会のイメージ強化とデザインの統一を図るべく広報関連の投資を強化し、ロゴの入った資料持ち帰り用の紙袋、封筒、メッセージカードなどを製作しました。2024年も引き続き広報関連プロジェクトを推し進め、主にソーシャルメディアでの活動に注力する予定です。

¹ 本報告書では簡易的に概略値にて記載。例年通り、詳細な損益計算書と資産・負債の明細を記載した貸借対照表は別途税理士事務所にて作成。

DJW会費収入の内訳(会員カテゴリー別)



会員、パートナー、スポンサーの皆様との協力関係は、多様なテーマと多岐にわたる活動内容から成るポートフォリオを実現するうえで、引き続き重要な役割を担っています。また、長年の協力関係に加え、新たなターゲットグループを開拓し、特に日本におけるDJWの認知度向上につながる関係の構築にも取り組んで参ります。

終わりに

DJW会員の皆様

私たちは、DJW会員の積極的な参加と協業を促進し、独自のアイデアやイベント、テーマを実現するためのさまざまなプラットフォームを提供する協会であることを誇りに思っています。2023年は、たとえば Japamburg とMunichiwaとの協力を通じ、既に定例イベントとして確立されつつあるコミュニティ・イベント実現のためのプロセスやイニシアチブをサポートでき、非常に刺激的な1年でした。この2つのイベント・フォーマットでは、パートナー組織とともに、地元、地域、全国のビジネス・コミュニティをひとつにまとめています。そしてどちらのフォーマットでも、定期的なイベントの成功を後押ししているのは、個々のDJWメンバーのコミットメントです。私たちは、DJWがプラットフォームとして機能することで、会員の皆様に新しいプロジェクトの枠組みを提供し、アイデア交換のためのいわばスパーリングパートナーとなり、新しいつながりを構築していけると確信しています。

私たちはこれからも協業プロジェクトにエネルギーを注ぎ、全力でサポートし、ともに次の一手を考えていきます。日独経済交流に関心を持つ人々に幅広く呼び掛け、組織の枠を超えた様々なレベルでの日独関係構築に貢献する目的のために。フランクフルトでの「日独経済懇談会」、ハノーファーでの「日独経済フォーラム」、デュッセルドルフでの「日独経済シンポジウム」など、DJWは既に実績ある強力なパートナーです。また、在独日本公館、在日ドイツ公館、その他の団体、財団、学術組織などとも活発な対話を行っています。このようにして、私たちは包括的なネットワークを形成し、ビジネス、政治、社会、科学を共通のプラットフォームで結びつけていきます。

この場をお借りして、私たちの旅に伴走頂き、共同プロジェクトで私たちをサポートし、私たちのネットワークをさらに持続可能、包括的、かつ具体的なものにしてくださるすべての皆様に感謝申し上げます。そして、DJWチームの吉田一哉、小野エリサ、アリソン・トネ、鈴木ファストアーベント理恵、私たちのアイデアを大きなスケールで実現させてくれる活動的な理事メンバーと実行力ある支援者の皆様に感謝を述べたいと思います。

これからも皆様とともに、日独友好とパートナーシップの架け橋を築き、オープンで公正、そして透明性ある対話を後押ししていければ幸いです。

DJW事務局一同を代表し、心からの感謝を込めて。

事務局長 アンネ・ポムゼル

2024年5月、デュッセルドルフ

参考資料 – 2023 年開催イベント一覧

- 11.01.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“
- 25.01.2023 Erfurt, DJW Asa no Kai, in Kooperation mit LEG Thüringen
- 25.01.2023 Hamburg, Japamburg, DJW als Unterstützer
- 02.02.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“
- 08.02.2023 Online, Interkulturelle Japan-Schulung für ein DJW-Mitgliedsunternehmen
- 09.02.2023 Online, Interkulturelle Japan-Schulung für ein DJW-Mitgliedsunternehmen
- 17.02.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „Information Technology“
- 02.03.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „German-Japanese Professional Women’s Network“
- 13.03.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“
- 15.03.2023 Osaka, German Economic Roundtable, in Kooperation mit AHK Japan und Generalkonsulat Osaka-Kobe
- 23.03.2023 München, DJW „Executive Lounge“
- 27.03.2023 Hamburg, Japamburg, DJW als Unterstützer
- 17.04.2023 Hannover, 16. Deutsch-Japanisches Wirtschaftsforum, in Kooperation mit ECOS Consult und Deutsche Messe
- 20.04.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“
- 18.05.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „German-Japanese Professional Women’s Network“
- 22.05.2023 Düsseldorf, Wirtschaftstag Japan, DJW als Unterstützer
- 25.05.2023 Ottobrunn, DJW Mitgliederversammlung
- 25.05.2023 Ottobrunn, DJW Symposium zum Thema Smart City
- 07.06.2023 Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“
- 09.06.2023 Frankfurt, DJW Career Talk, in Kooperation mit Nippon Connection Filmfestival
- 22.06.2023 Düsseldorf, DJW Socializing
- 26.06.2023 Hybrid (München | Online), Treffen der DJW Working Group „Information Technology“
- 26.06.2023 München, DJW Socializing
- 30.06.2023 Hybrid (Düsseldorf | Online) DJW Squad Meeting “Designing our DJW Ambassador Concept“
- 30.06.2023 Düsseldorf, DJW Kai, in Kooperation mit DoKomi 2023
- 25.07.2023 München, DJW Socializing
- 24.08.2023 Düsseldorf, Interkulturelle Japan-Schulung für ein DJW-Mitgliedsunternehmen
- 31.08.2023 Hybrid (Düsseldorf | Online) DJW Squad Meeting “Designing our DJW Ambassador Concept“

- 18.09.2023** Online, Treffen der **DJW Working Group „Information Technology“**
- 20.09.2023** Hamburg, **Japamburg within DJW**
- 21.09.2023** Hannover, **DJW Kai**, in Kooperation mit DMG MORI
- 27.09.2023** Düsseldorf, **DJW Socializing**
- 28.09.2023** Hattersheim, **DJW „Executive Lounge“**
- 11.10.2023** Düsseldorf, **DJW Spot On!**, Globale Herausforderungen der deutschen Wirtschaft, Kooperation mit JETRO, JIHK, Hojinkai Frankfurt
- 12.10.2023** Online, Treffen der **DJW Working Group „Intercultural Management“**
- 12.10.2023** München, **Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO
- 27.10.2023** Frankfurt, **79. Deutsch-Japanische Wirtschaftsgespräche**, in Kooperation mit DJG Frankfurt und Hojinkai Frankfurt
- 07.11.2023** Online, **Prefecture Pitch**, DJW als Unterstützer
- 15.11.2023** Osaka, **German Economic Roundtable**, in Kooperation mit AHK Japan und Generalkonsulat Osaka-Kobe
- 16.11.2023** Osaka, **DJW Socializing**
- 16.11.2023** München, **Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern, Japan Club München und JETRO
- 22.11.2023** Berlin, **DJW Members for Members**
- 22.11.2023** Frankfurt, **80. Deutsch-Japanische Wirtschaftsgespräche**, in Kooperation mit DJG Frankfurt und Hojinkai Frankfurt
- 24.11.2023** Tokyo, **DJW Symposium** zum Thema Smart City
- 29.11.2023** Düsseldorf, Treffen der **DJW Working Group „German-Japanese Professional Women’s Network“**
- 30.11.2023** Hamburg, **Japamburg within DJW**
- 05.12.2023** Online, Treffen der **DJW Working Group „Sustainability“**
- 07.12.2023** Willich, **DJW Asa no Kai**
- 14.12.2023** Hamburg, **DJW Career Talk**, in Kooperation mit der Universität Hamburg
- 14.12.2023** München, **Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO



Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis e. V.

日独産業協会



デュッセルドルフ事務所 (本部)

Graf-Adolf-Strasse 49

40210 Duesseldorf

Tel.: +49 (0)211 - 99 45 91 91

東京駐在事務所

Expert Office Kojimachi, Zi. 415

2-10-3 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo

Tel.: +81 (0)90 - 67 47 74 90

Web: www.djw.de

E-Mail: info@djw.de

